

## 鳥羽天皇関連の御陵

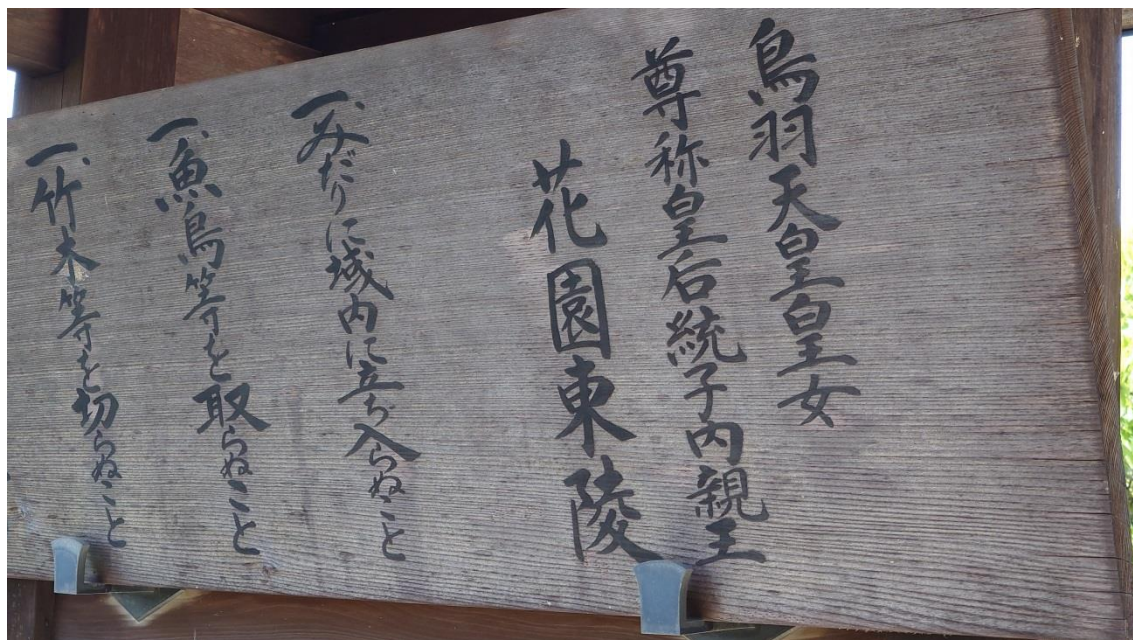


法金剛院

**JR** 花園駅近く鳥羽天皇関係の御陵が2基鎮座しています。駅から西へ5分程度のところには法金剛院があります。この法金剛院が成り立った時はこの辺りはすべてこのお寺の所有地というか、現在の我々の概念の所有というのではなく、領有地、むしろ領地という途方もなく広い場所であったろうと思われます。でその法金剛院の所有地であったであろうと思われる駅から北へ5分ほどのところにまず花園東陵と呼ばれる御陵があります。鳥羽天皇第2皇女で尊称皇后・統子内親王（とうし/むねこないしんのうはなぞのひがしのみささき）の御陵です。平安時代後期後白河天皇の准母として皇后となり、のち女院、初名は洵子 鳥羽天皇次女、母は中宮・藤原彰子、同母兄弟に崇徳天皇、後白河天皇、覚性入道親王、緒子内親王等。









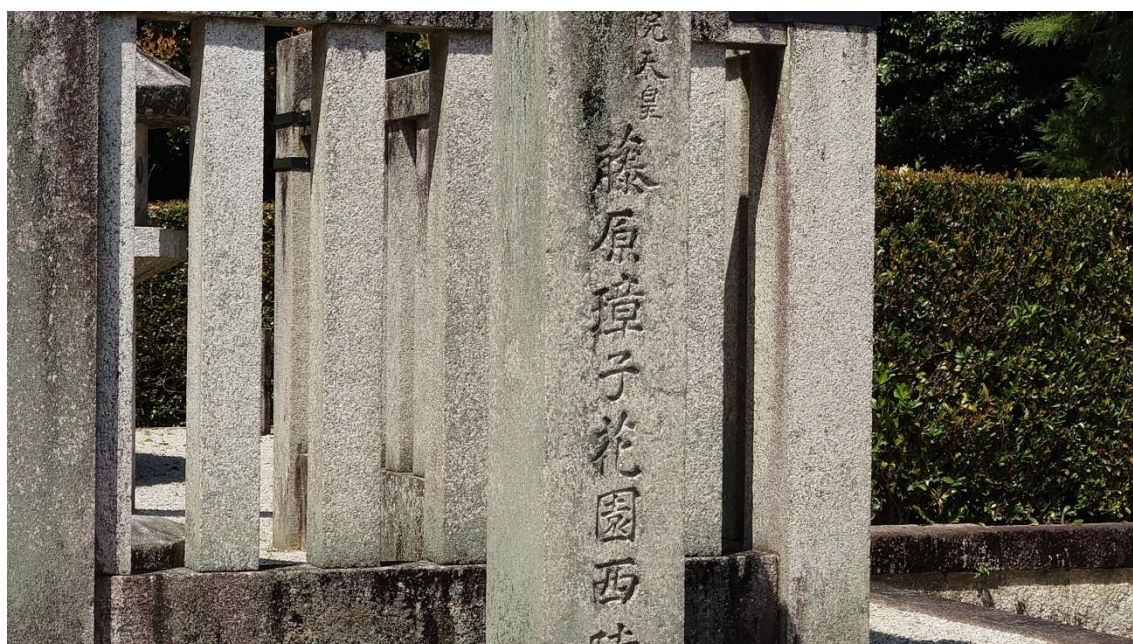
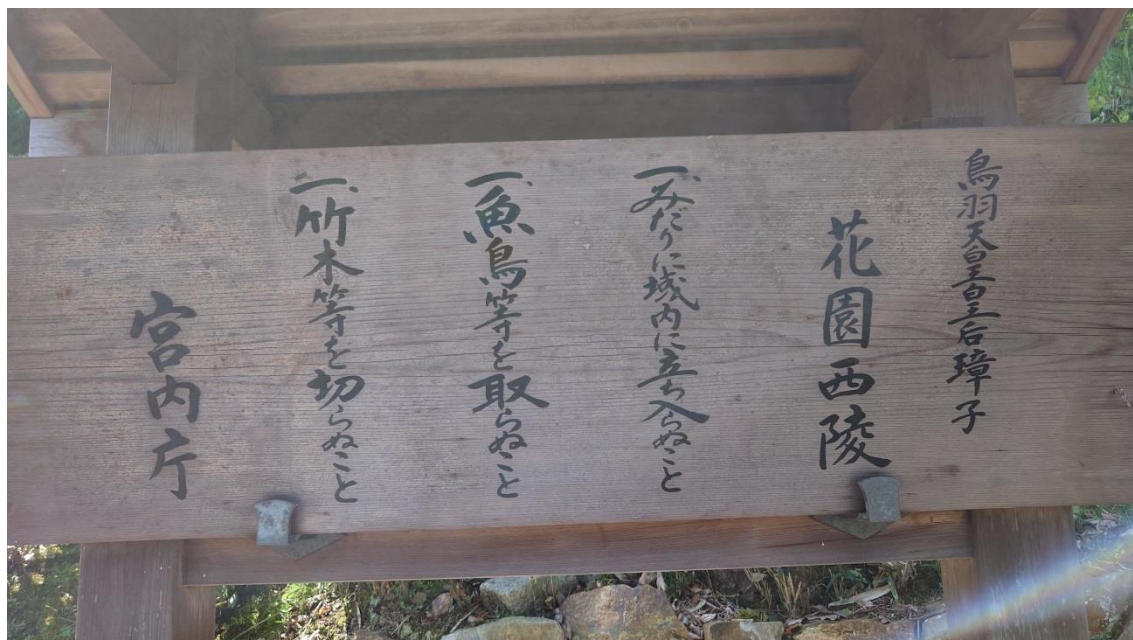


この東陵を反時計回りで5分ほどぐるっと廻り込むと花園西陵と呼ばれる場所にです。東陵と西陵は背中同士でくっついているような形です。で、その南側に法金剛院があります。という位置関係です。

この場所は鳥羽天皇中宮・藤原彰子花園西陵と呼ばれています。鳥羽天皇の中宮で崇徳天皇と後白河天皇の母、康和3年（1101年）生まれ。父・藤原公実、母・光子 白河院の孫である鳥羽天皇と結婚 誕生した子が崇徳天皇 後に法金剛院で落飾し、女院号・待賢門院。











### {法金剛院}

ほうこんごういんは京都市右京区花園にある律宗の寺院。山号は五位山。本尊は阿弥陀如来。境内に現存する瀧は日本最古の人工の滝とされており、国の特別名勝に指定されている。

歴史的には、天長 7 年（830 年）頃、この地に右大臣清原夏野が山荘を構えたが、その後山荘を寺院に改め、名称を双丘寺としたのが当寺の始まりであるという。その後平安時代の末期の大治 5 年（1130 年）藤原氏の出身で崇徳天皇、後白河天皇の母であり、鳥羽天皇の中宮である待賢門院（1101 年～1145 年）により再興され、名称を訪金剛院と改めている。